

Q 女性が輝くまちづくりの実現に向けての考えは

A 女性の登用を意識しながら積極的に取り組む



松浦和子議員

考えは。

**まちづくり
交流課長** 町が平成
25年12月に
策定した「1000年の
まち。これから100
年のまちづくり基本計
画」では、「(仮称)里まち
文化ステーション」の全
体のテーマを、女性の
力を活かして町の宝も
のと暮らしの知恵や手
わざをはじめとした町
の文化を発信すること
としている。施設の基
本コンセプトも、女性
の力を最大限に活用す
ることとしているので、
出荷者、施設の利用者・
顧客、働き手と、施設に
携わるすべての女性た
ちには、大きな期待と
役割があると考えてい
る。

問 どの委員会も女性委員が少ない。女性委員の構成比率を高めて女性ならではの感性や発想力を大いに活用すべきと考え、委員の選定にしているの考えは。

「法」が成立し、意欲、能力の高い人材を確保する必要が高まる中で、女性の積極的な社会参加を促すものとして大いに期待されている。町の各種委員会の女性比率は、震災前の平成23年度の15・9%から、今年度は5ポイントアップした20・

7%となっている。今後とも女性の登用を十分意識しながら対応していきたい。

平成28年度以降、それぞれのセクションで募集の時期が到来した時点で、女性の募集も行っていく。



ママまつりでは出展側でも女性が活躍

問 女性が結婚・出産後も安心して働ける環境づくりのための町としての取り組みは。

住民生活課長 「男女共
同参画社会
基本法」の理念に基づき、各種施策をきめ細かく実施することが重要と考えている。

問 道の駅における女性の役割・活用・期待についての

道長

町長 運用面では、直売所、レストラン、カフェで女性の進出分野、かなめとしての役割の分野であると考えている。活用面では、顧客としても大半を女性が占めるのではないかと考えている。したがって、交流の場(道の駅)は、女性の支援や活用がなければ機能をせず、まさに女性のかなめの施設になるものと強く認識している。女性の方にもアドバイスなどをいただきながら円滑に運営をしていきたい。

Q いじめ問題への対応は十分か

A 基本方針の下に組織的に進めている

問

他県の中学校
でいじめを苦し
めた自殺という痛まし
い事件が発生した。「い
じめ対策推進法」が十
分に機能していなかっ
たと思われており、
文部科学省はいじめ問
題に対する組織体制が
整っているか調査を求
めているが、点検内容
と結果は。

教育長

おもに以
下2点につ
いて点検を指示してい
る。
1つ目はいじめ対策
の組織として、管理職
のみならず適切な教職
員や心理・福祉の専門
家が参画できるように
している。
2つ目に計画的・組
織的な取り組みとし
て、いじめの未然防止・

問

早期発見・対処の年間
計画を作成している。
この点検を契機に、
さらに取り組みを進め
ていきたい。

問

いじめを認知
した場合の対応
手順は。

教育長

まずいじ
めに関する
対策委員会に報告し
て、組織として共有・
共通理解を図っている。
事案に応じて保護者と
相談、教育委員会で指
導・指示をし、解決に
向かって進めていく。

教育長

特に決め
てはいない
が、アンケートは各学
期1回、教育相談は年
2回実施している。

問

いじめゼロを
数値目標として
いるか。

問

いじめ撲滅週
間や児童生徒の活動を
含め、いじめのない学
校作りを目標としてい
る。

問

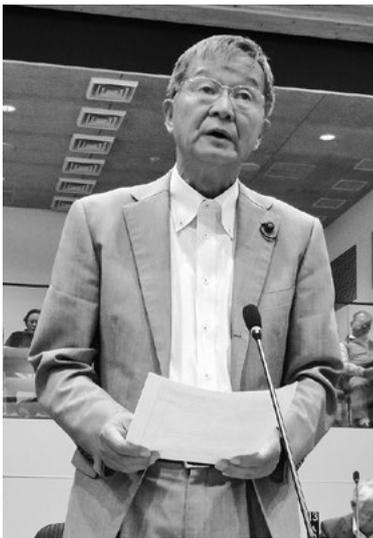
いじめは
子どもに
性を育む
ために、
道徳や特
別活動、
幼小中一
貫教育事
業などを
通し、地
域の人や
保護者に
も協力を
いただき
ながら進
めていき
たい。

問

いじめ問題へ
の教育長の思い
を伺う。

教育長

いじめは
子どもに
性を育む
ために、
道徳や特
別活動、
幼小中一
貫教育事
業などを
通し、地
域の人や
保護者に
も協力を
いただき
ながら進
めていき
たい。



佐藤定男議員

問

いじめに対す
るチェック体制
は十分か。

教育長

数値目標
とはしてい



教室で真剣なまなざしの子どもたち
(夢先生の授業)